

⑤ 第5委員会

「水やエネルギーを大事にするまちづくり」



それでは、第5委員会の意見発表をします。

第5委員会のテーマは、「水やエネルギーを大事にするまちづくり」です。このテーマについて考えるため、わたしたちは7月20日に名城水処理センターの施設見学を行いました。名城水処理センターでは、実際に水をきれいにしていくところを見せてもらいました。施設の中は、最初はくさくてきたない水が流れているのでとてもおどろきました。このきたない水がそのまま川に流れてしまうと環境をよごしてしまうのではないかと心配になりました。しかし、名城水処理センターでは、微生物を使って安全に水をきれいにしているのだとわかりました。そして、わたしたちが最初感じたように、こんなきつくてきれいではないところで働いてくれている人がいるのだということもわかりました。

今回の施設見学を終えて、わたしたちは、油などをそのまま流してしまうと水をよごしてしまうので、気をつけたいと思いました。また、水をむだにせず大事に使っていきたいと思いました。

以上のことを話し合った後に、わたしたちは、委員会のテーマである「水やエネルギーを大事にするまち」にするためには何をすればいいのか考えました。

それでは、わたしたちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員 わたしたちは、水をよごし^す過ぎたり、油やごみなどを下水管に流してはいけません。なぜなら、わたしたちが使ってよごれた水は、水のじゅんかんによって生き物が住む川や海に流れて、またわたしたちのもとにもどってくるからです。だから、水をできるだけよごさないようにしないといけません。

また、どうしてもよごしてしまった水が、きちんと下水^{しよりじょう}処理場できれいな水に^{しより}処理できるように、下水管をつまらせる油やごみなどを流してはいけません。水がよごれると、ばいきんが発生し、病気がはやる^{げんいん}原因になることもあります。一人一人が水をよごさない努力をすることで、健康で^{せいけつ}清潔な暮らしが守られていきます。名古屋の水を大切に^く使っていきたいです。

○子ども議員 わたしの住む名古屋で、^{せつすい}節水や^{せつでん}節電をしてくれる人や水をよごさない人が多くなるように、イベントやポスター、インターネットなどで^よ呼びかけるとよいと思います。

みなさんの中には、^{せつすい}節水や^{せつでん}節電に気をつけているという人はいるかもしれませんが、水をよごさないことには気をつけていますか。水をよごしてしまうと、その水がきれいになるまで、すごく多くの時間がかかります。それに、^{ぎゅうにゅう}牛乳や油などをそのまま流してしまうと、水と同じようにきれいになって川に流すまで、時間がかかります。みんなが協力して気をつけたいと思います。

わたしは、^{せつすい}節水や^{せつでん}節電する人、それに水をよごさない人が多くなってほしいです。

○子ども議員 ぼくは、名城水処理センター^{めいじょうみずしゅり}に行ってきた、水がどのようにしてきれいになるのかを見てきました。そこは、とてもくさくて、すごくうるさかったです。そんなところで働いている人がすごいと思いました。これからは節水^{せつすい}や水をできるだけよごさないようにすることに気をつけたいです。

カナダでは、国が市民にタイムウオッチを配りました。シャワーを出した時間が短い人ほど銀行の利息^{りそく}を上げるという政策^{せいさく}を行いました。そしたら市民は、シャワーや水を出す時間を気にする人がふえました。このようにして、下水が減^へることで、処理場^{しゅりじょう}も小さくなり、処理場^{しゅりじょう}で使うエネルギーも同時に減^へらすことができるため、大変よいと思いました。このようなまちづくりをこの子ども議会を通して提案^{ていあん}したいと思います。

○子ども議員 ぼくは、ポスターを張^はった方がいいと思います。題名は「水、エネルギーを大切に」というポスターをつくって張^はった方がいいと思います。例えば「お米をといた水を花にあげよう」、「太陽が出て明るい日には電気を消そう」として、張^はった方がいいと思います。みんなに協力してもらいます。そうすれば、多分こうやって水を大切にすればいいのか、こうやってエネルギーを大切にできるのかと思って、協力してもらえたり、水、エネルギーを大切にもらえたりすると思います。

○子ども議員 ぼくは、水やエネルギーを大事にするまちづくりをするのには、まずみんなが協力することが大切だと思います。地域の人がみんなできるのは、まずこれが一番最初だと思います。

次は、水をきれいに使うことです。みんなが使った水は下水処理場に流れます。水をきれいにするときには、機械を使うので、電力を使います。少しでも水を流さなければ、電力を使うことが少なくなります。

最後に、日常でぼくたちが一番できることは、米をといた水を植物にあたえることです。

○子ども議員 ぼくたちは、「水やエネルギーを大事にするまちづくり」というサブテーマに関する提言をするため、実地調査として、名城水処理センターと上下水道局に行きました。

一番印象に残ったのは、水処理センターで働いている方々の方針です。その方針とは、自然や住民のために、有害な薬品を使わず、主に微生物を使って消毒・ろ過を行っているということです。ぼくも、自然と人間を大事にするというこの方針を大切にしたいと思い、次のように考えました。

水処理センターでおだな労力、電力を使わないためにも、水の使用量を最小限にしよう。この考えは、水と電力、つまりエネルギーの両方を大切にできるため、強く推せんしたいと思います。

○子ども議員 わたしは、1回目の事前研修会けんしゅうかいを終えて、サブテーマの水やエネルギーを大事にするためには、やはり節水せつすい、節電せつでんをすると思います。また、使い過ぎすないというだけでなく、よごさないようにきれいに使う。つまり、牛乳ぎゅうにゅうや油あぶらなどを直接流ちよくせつさないようにしたりすることも大切だと思います。

そして、そのことを名古屋で取り組むためには、まずは市民に呼びかけて、参加してくれる人を集めなければいけないと思います。それには、口で声を出して呼びかけるほか、ポスターやチラシをつくって知ってもらったりすると思います。

○子ども議員 ぼくは、余りあま多く水を使わないようにすると思います。なぜなら、直接飲めるちよくせつような水がふえて、よごれた水が減るからです。

もう一つ、ぼくが思ったのは、水処理センターみずしよりにの人を困こまらせないようにすることです。川にごみを流したり、よごれた水をふやしたりすると、水処理センターみずしよりにの人が困こまるからです。こういうことはしたくないなと思いました。だから、もうおだな水を使ったり、ごみを流したりしないで、水を大事にしたいと思います。なので、みなさんも水を余りあま使わないように努力してください。

○子ども議員 ぼくは、「水やエネルギーを大事にするまちづくり」をするためには、^{せつすい}節水をすることがとても重要だと思います。ぼくは、まちの公園や学校などでだれも使っていないのに水が出しっ放しになっていることをよく見ます。そして、その水のおだづかいをなくするには、よくスポーツセンターで見る手をかざすと水が出て、手をもどすととまるというのをほかの^{てあら}手洗い場にもつけたらいいと思います。

しかし、それだけではバケツに水をくんだりするときにとっても不便なので、それを目的に水を使うところは、時間で区切り、5分たったら水が自動でとまるようにすれば、水の出しっ放しがなくなると思います。それを実行するには、たくさんのお金がかかるとは思います。水を出しっ放しにするのがこれから何年も続くよりはいいと思います。そして、このことが結果的にもエネルギーにつながるとは思います。

○子ども議員 わたしたちの住んでいる愛知には、原子力発電所はないけれど、この日本には原子力発電所はたくさんあります。東北地方では、^{じしん}地震や^{つなみ}津波のほかに原子力発電所のせいで住みなれている東北をはなれなければいけない人たちがたくさんいます。^{つなみ}津波や^{じしん}地震で家族や友達を失った人たちは、表面上笑っていても、心の中では悲しみに包まれているはずです。たとえ家族や友達を失っていない人でも、同じ東北に住んでいる人の心は悲しみに包まれていることでしょう。けれど、わたしたちは、その^{じしん}地震が起きる前と同じように家族で笑い合ったり、友達と話したりするなど、心から笑えることができます。なので、わたしたちが^{せつでん}節電、^{せつすい}節水をし、少しでも東北の人たちに電力や水をあげればいいなと思います。

○子ども議員 今は電気が不足しています。そこで、名古屋の中の川の流れを使った小水力発電をしたり、また下水の流れを使ったり下水の熱を使ったりして発電をしたらいいと見学して思いました。そして、名古屋には大きなビルがたくさんあるので、太陽光発電パネルをたくさんつけて電力を生み出したり、また使っていない電気を消したりして、^{せつでん}節電も心がけていきたいと思えます。

今は東北の人々が大変なので、名古屋のみなさんが電気を^{よぶん}余分に使わないようにして、エネルギーをできるだけ使ってほしいと思えました。

○子ども議員 わたしは、^{めいじょうみずしより}名城水処理センターへ行って、人がたくさん集まると大きな施設がいくつも必要だと思えました。それに、^{そうぞう}想像以上に^{にちじょう}日常の^{みずしより}よごれた水が水処理センターに送られてきていることがわかりました。

水をよごさないのは当然ですが、どうしてもきたない水は出てきます。それなら、せっかく水が流れているので、水車をつけたり、^{ちんでん}沈殿池のような広い場所があるなら屋根をつくってソーラーパネルをつけたり、^{しょうきゃくろ}焼却炉で^{すいじょうき}水蒸気をつくってエネルギーをつくれればいいと思えます。

日本は、^{しげん}資源がない国なので、できるところでじゃまにならないようにエネルギーをつくるのが大切だと思えます。

わたしたち第5委員会は、これらのことが名古屋を水やエネルギーを大事にするまちにするために必要だと考えました。

これで、第5委員会の発表を終わります。

■ よこいけいざい横井経済水道委員長の答弁

けいざい経済水道委員長の横井利明です。

みなさん、本当に4日間おつかれさまでした。感動があったり、おどろきがあったり、発見があったり、笑いがあったり、しかしじゅうじつ充実した子ども市会ではなかったかなと喜んでおります。

第5委員会では、名古屋市を「水やエネルギーを大事にするまち」にするために何をすればいいのかをみなさんでしっかりとぎろん議論し、そして名城めいじょう水処理みずしゅりセンターに行くことをみなさんで決め、委員会で活発なぎろん議論を行ってきました。

名城水処理センターの現場視察では、よごれた水をきれいな水にして海や川へ返すことの大変さを勉強しました。センターの見学を終えた後には、みなさんで日々の暮らしの中でできることを考え、水を大事に使うという思いもより深まったのではないかなと思っております。

今、第5委員会のみなさんから、さまざまなお意見、ご提言ていげんをいただきました。水をよごしてしまうと環境かんきょうが悪くなってしまうというもの、シャワーのおだづかいをやめることに協力した人へ特典をあたえてはどうかというご意見もありました。また、限りある資源かぎ しげんを守るという観点から、水だけでなく電気などのエネルギーに対してもご意見をいただいたものと考えています。



節水せつすいや節電せつでんを呼びかけようというもの、新しいエネルギーを生み出してはどうかという提案ていあん、市民が協力することの大切さ、そして東日本大震災しんさいで困こまっている東北の方々に、名古屋でしっかり節電せつでんをして水や電気を東北の方にゆずってあげようという思いにあふれたご意見もいただきました。

子ども議員のみなさんからいただいたご意見は、わたしたち経済水道委員会けいざいがしっかりと受けとめました。我々経済水道委員会われわれけいざいは、子ども議員のみなさんが真剣しんけんに名古屋の未来かくにんを考えていることを確認しました。水やエネルギーを大事にするという将来しょうらいの名古屋の姿すがたをしっかりと形にできるよう、経済水道委員会けいざいとして最大限さいだいげんの努力をすることをお約束したいと思います。

子ども議員のみなさんが、これからもよりよいまちに向けてご活躍かつやくいただきますことを願い、答弁とうべんといたします。ありがとうございました。

